

# 新沢千塚古墳群周辺を歩いてみよう!!

「新沢千塚古墳群公園」に遊びに来られたついでに、周辺を少し探索してみませんか?

何か新しい発見があるかも知れませんヨ♪♪♪♪

## 新沢千塚古墳群

橿原市の南西に位置する貝吹山から延びる丘陵上に、4世紀の終わり頃から6世紀の終わり頃までの約200年の長期間にわたって約600基もの古墳が築かれた。日本有数の大古墳群(群集墳)である。

古墳のほとんどは、直径10~20m程度の円墳だが、数は少ないものの前方後円墳や前方後方墳、方墳などバラエティー豊かな古墳が存在している。

この古墳群の氏族ないし埋葬者は特定されていない。

1976年(昭和51年)に国の史跡に指定された。

平成24年から「新沢千塚古墳群公園整備事業」が行われている。古墳群公園は、県道を挟んで北側と南側に分かれている。

南群公園の「龍の広場」では、湾曲したヒゲに鋭い歯の龍のモニュメントが来園客を出迎えている。



公園内施設には

- ・歴史に憩う橿原市博物館
- ・シルクの社
- ・新沢千塚ふれあいの里(道の駅)がある。



## 浄国寺

浄国寺は、寛永年間(1624~44年)に開創されたと伝えられているが、明治時代初期に真言宗の長法寺と合併し長法寺となったが、その後再び浄国寺として浄土宗となっている。現在は、旧長法寺の堂宇も残され、阿弥陀如来が祀られている。

境内に四角形の古い石灯籠がある。石灯籠の笠形は、鎌倉時代初期の六角形のものから、鎌倉時代末期には四角形のものへと変化していることから、この石灯籠はその変化の初期の頃のものとして貴重である。「重要美術品」として扱われている。



## 宣化天皇陵

正式には「身狭桃花鳥坂上陵(むさのつきさかのえのみささぎ)」と呼ばれ、第28代宣化天皇・皇后の橘仲皇女(たちばなのなかつひめみこ)の合葬陵に治定されている。宣化天皇は、第26代継体天皇の第2皇子で、第29代欽明天皇の兄にあたる。

一般的には「鳥屋ミサンザイ古墳」と呼ばれている。「ミサンザイ」とは、天皇家の墓という意味。墳形は、前方後円墳。古墳時代後期前半の6世紀前半の造営。当時としては、大和で最大級の古墳。墳丘周囲には、盾形の周濠が巡らされているが、後世(寛永年間)でのため池(鳥屋池)工事(灌漑用)に際して大きく改変を受けている。



体調に合わせてウォーキングを楽しんで下さい!!

※: 歩数、距離、時間は目安です。

レギュラーコース	5,600歩、3.4km、65分
もう少し歩くコース	7,000歩、4.2km、95分

